

第二四半期（2018年4月～6月）状況総括

アジア諸国の急激な発展により、社会は本格的なボーダレス化に突入しています。グローバルなボーダレス化は多層で多様な価値観を生み出します。このボーダレス化の流れに合わせるべく、当社はインバウンドの先を行く「グローバルライフスタイルの実現」に向け、お客様を国内でお待ちする「静」の拡充のみならず、海外に居住するお客様へ直接こちらからリーチする「動」の推進の両輪をもって事業領域の拡大を図ってまいります。

当該期間は、インバウンド消費動向の多様化に合わせた魅力的な「コト・モノ」コンテンツの拡充と、海外に居住するお客様へのメイド・イン・ジャパンコンテンツの提供を軸に各事業への投資と構造改革に注力をいたしました。とりわけ、各事業のステージにあわせた投資と収益力向上にむけた構造改革を確実に推進し、その手応えを感じ始めた期間でありました。皆さま是非とも、着実に取組を推進するラオックスにご期待ください。

[2Qのトピックス] <http://www.laox.co.jp/ir/release.html>

ギフト業界大手シャディ(株)買収、人気のスパリゾートメントのP B開発、ノンバーバルパフォーマンスのギアにバースデーサービスを開始、大手家電メーカーと共同で生産した高級IH炊飯器を輸出開始、本格和食割烹のくろぎ上海がランキング1位を獲得、SUNING.comにラオックス海外旗艦店をリニューアルオープン、銀聯QR決済及びSUNING Payをラオックス店舗に拡大導入、上海呉淞国際クルーズ港での予約販売を本格始動。

セグメント毎の取組状況

■ リテール事業

インバウンド消費動向の多様化に対応すべく、リテール事業に関しては、強みである団体旅行の取り込みをさらに盤石なものとしつつ、個人旅行者の受け入れ拡大に向けて、店舗運営の効率UP施策を実施。レジ通過数も当該期間は前年対比で19.2%、平均購買単価も1Qの19,426円から812円UPの20,238円と着実に取組の効果が表れた。化粧品専門カウンターのJCLは、開始から1年経過。売上・客数とも順調に増加し、43か国のお客様が利用。また、国内大手家電メーカーとコラボした高級IH炊飯器の輸出を本格化し、蘇寧易购実店舗の過半数となる650店舗で販売を開始。

■ 生活ファッショ事業

・生活ファッショ事業内の靴グループは組織再編に本格的に着手。各組織の役割を明確にし、靴グループとしての効率化を目指す。また、ロコンドとの業務提携による、物流移行とEC販売強化により当該期間売上におけるモード・エ・ジャコモのEC化は前年196%、オギツは160%を達成。ECの売り上げ構成比も上昇。

・ギフト業界最大手のシャディ社を子会社化。全国約3,000店の販売ネットワークと約6万点のSKUを誇る。また、国内7箇所に物流拠点を有する。今期5月よりラオックスグループとの連携により合理化と営業力の強化を推進中。豊富な商品群を背景にギフト文化を再構築し、グローバルライフスタイルの実現を模索する。

※国内全店レジ通過数

年度	1月	2月	3月	1Q計	4月	5月	6月	2Q計
2016	172,890	194,220	218,365	585,475	233,924	196,335	198,007	628,266
2017	197,136	198,983	191,867	587,986	193,553	175,756	186,501	555,810
前年比	+ 14.0%	+ 2.5%	- 12.1%	+ 0.4%	- 17.3%	- 10.5%	- 5.8%	- 11.5%
2018	187,139	209,132	196,732	593,003	232,940	216,718	213,117	662,775
前年比	- 5.1%	+ 5.1%	+ 2.5%	+ 0.9%	+ 20.3%	+ 23.3%	+ 14.3%	+ 19.2%

※店舗数の状況

3月末現在	6月末現在
40店舗（出店 / 退店 3）	40店舗（出店 / 退店 なし）

■ エンターテインメント事業

5月、千葉ポートスクエアでは、パラスポーツ大会応援イベント「Go Together～みんな一緒に共生する未来～」を開催。千葉市や地域と連携し、パラスポーツや千葉市地産地消グルメの食物物販などを通じて地域住民との交流を強化。7月には1周年を迎えるため、「THE NEW YORK BAY SIDE KITCHEN」ではピザ釜を導入した本格イタリアンメニューを追加し、バラエティに富んだイベントを積極的に実施。

■ SCディベロップメント事業

グループ内の売り場スペースの効率化や投資物件のリーシング、AM事業を開始。